

ブックトーク

「ともだち」っていいな！

新宿区立愛日小学校 編



対象学年第3学年（30名）

- 活用した書籍情報
- ① 「ともだちや」 内田麟太郎 偕成社 （0人）
 - ② 「ふたりはいつも」 アーノルド・ローベル 文化出版局 （0人）
 - ③ 「ともだちは海のにおい」 工藤直子 理論社 （6人）
 - ④ 「ルドルフとイッパイアッテナ」 斉藤洋 講談社 （10人）
 - ⑤ 「ごめんねともだち」 内田麟太郎 偕成社 （2人）
 - ⑥ 「ねこかぶりデイズ」 錦織友子 小峰書店 （16人）
 - ⑦ 「そばかすイエシ」 ミリヤム・ブレスラー 徳間書店 （13人）
 - ⑧ 「きえた学校ぼっこ」 三田村信行 フレーベル館 （19人）
 - ⑨ 「おともださになりま小」 たかどのほうこ フレーベル館 （7人）
 - ⑩ 「きつねのスケート」 ゆもとかずみ 徳間書店 （5人）
 - ⑪ 「ともだちのしるしだよ」
カレン・リン・ウィリアムズ：カードラ・モハメッド岩崎書店 （11人）
 - ⑫ 「ともだち」 太田大八 講談社 （20人）

- ・ ①～⑫までをブックトークで紹介。活動時間は約1時間。とても興味をもち最後まで集中して聞いていた。
- ・ 活動後に「この本の中から今読んでみたい本は？」と質問し、挙手してもらい人数を調査した。上記の（ ）内の人数が結果である。「ともだちや」「ふたりはいつも」はほぼ全員が読書経験がある書籍であった。
- ・ ブックトーク後、すぐに本を手にとり読み始めている児童が多かった。男女とも「ともだち」が人気が高く、担任の先生が読みきかせを行った。その他、男子には「きえた学校ぼっこ」が人気が高く、女子には「ねこかぶりデイズ」が人気が高い。その後も、書名や作者名をメモして、自分で借りようという児童や、教室で読みふけている児童を目にした。
- ・ 翌日以降には、早速家で読んできた児童や、地域の図書館に本を借りに行った児童がいて、話題になっていた。

ブックトークを行うにあたっての参考文献

- ・ 「わたしのブックトーク」 京都ブックトークの会 連合出版
- ・ 「だれでもできるブックトーク 「読みきかせ」から「ひとり読み」へ」 村上淳子編著 国土社